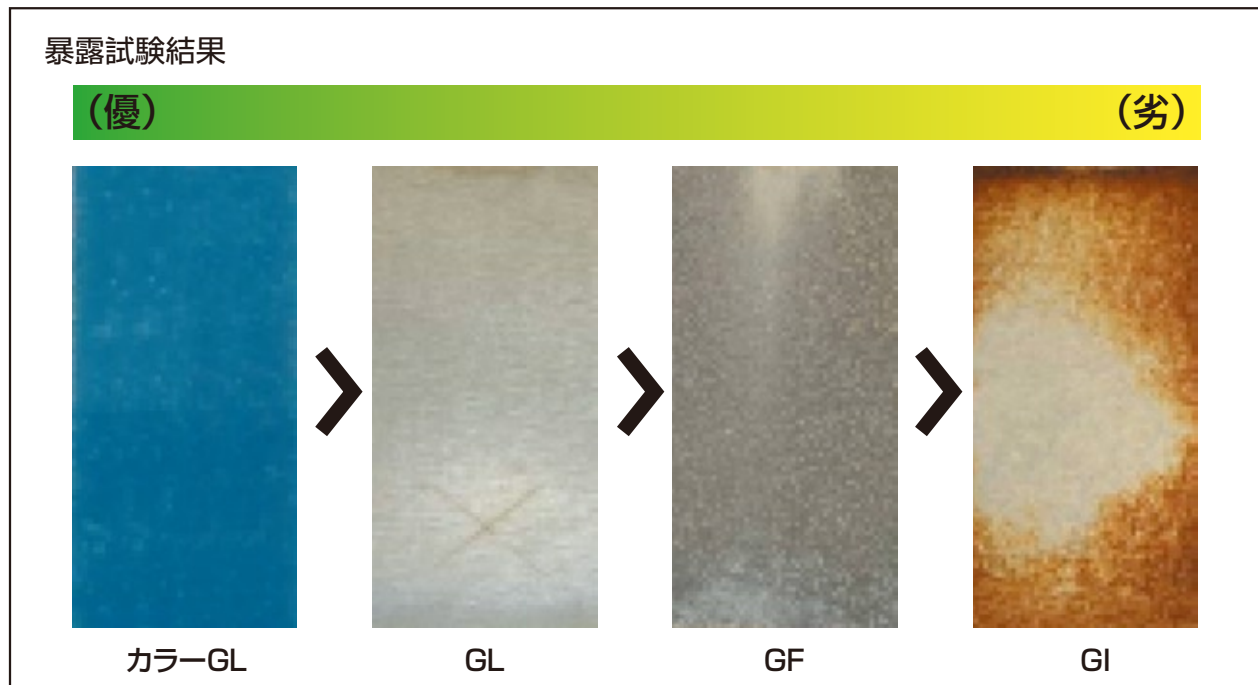


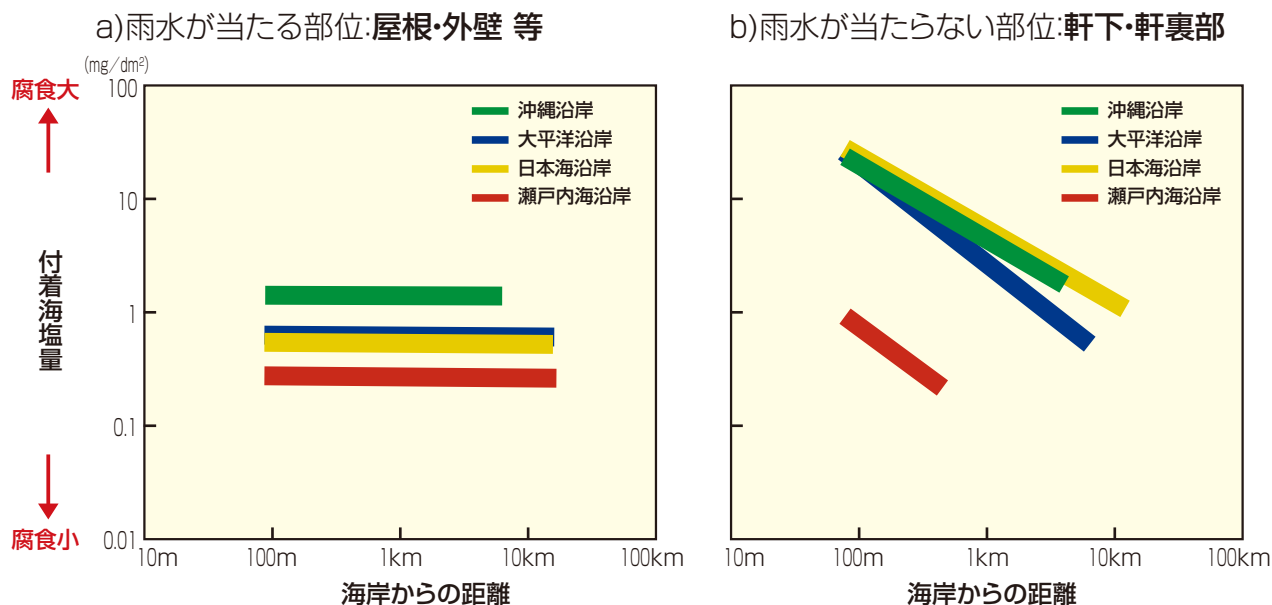
耐 食 性

JFE鋼板のカラー鋼板<1>

1. カラー鋼板は塗膜種が同じ場合、下地めっきの 特性によって耐食性能が異なってきます。
2. カラー鋼板は、通常環境では良好な耐食性を示します。
3. 太陽光線量と付着海塩量の多い沖縄では通常環境の2~3倍も腐食が進行します。  
このような厳しい環境ではGLめっきが優れ、GL下地カラー鋼板はさらに有利です。



4. 「海岸近傍の錆やすさ」は“地域、雨水が当たる、あたらない”によって変わってきます。

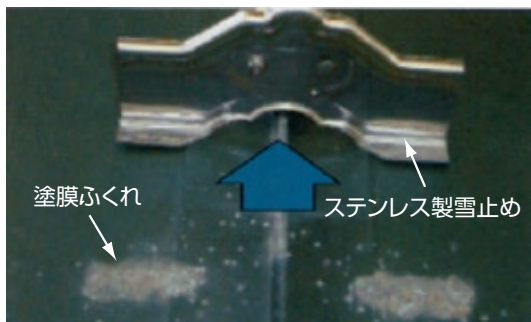


注) 上記データは、各地域の付着海塩量の傾向を示しておりますが、詳細判定は、対象地における付着海塩測定が必要です。

- ① 海岸近傍の軒下、軒裏部は付着海塩量が多く非常に腐食しやすい環境につき、耐食性に優れるGL下地カラー 鋼板が有利です。
- ② 海塩付着による腐食防止には、定期的な水洗が効果的です。

### 5. 特殊な条件下での腐食事例

#### a. 異種金属接触腐食



●ステンレス製雪止めとカラー鋼板の接触

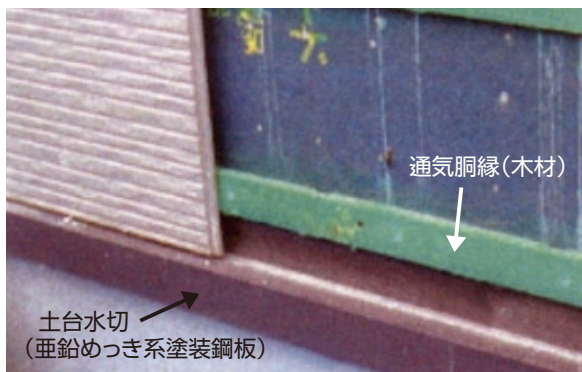


●銅線とカラー鋼板の接触

#### 腐食防止策

- ①塗装鋼板と、異種金属【銅(銅イオンの滴下等を含む)、ステンレス等】との直接接触を避けて施工してください。絶縁処理を施した金具・付属物のご使用や、異種金属【銅、ステンレス等】側の塗装も効果的です。
- ②直接接触が避けられない場合、金具や付属物は同種金属(例.亜鉛めっきとアルミめっき、アルミ線)をご使用ください。

#### b. 防腐・防蟻処理木材との接触による腐食



#### 腐食防止策

主として銅系の防腐防蟻剤を含む木材との長期直接接触を避けてください。

- ①主成分に銅を含む防腐防蟻剤で処理された木材、合板は カラー鋼板を腐食させる懸念があります。
- ②直接接触する部分(軒先、けらば、棟包み、雨押え、降り棟、谷部、目地など)は絶縁用下葺(ルーフィング材またはプチルテープなど)で防錆し、木材・合板との直接接触を避けてください。

#### c. 長期水濡れ腐食



屋根裏への水の浸入、結露等の原因で、長期間水に濡れた状態が続くと数年前後で穴あきに至る場合があります。

#### 腐食防止策

- ①軒先部に断熱材を貼り付けない、疎水性断熱材の採用等
- ②設計・施工時の水侵入防止・結露防止への配慮

一般カラー材(板厚 0.6mm)  
施工:約10年経過 海岸から約4km